

発行：遠藤ひろし後援会（浩友会）代表 山村正樹
 事務所：市川大門町 127番地 055-272-0153
 ホムページ：http://www.enyo.co.jp/koyukai/
 メール：koyukai@enyo.co.jp



一般質問

質問

消防団規則を見直す時期
 全国的にサラリーマン層の増加、高齢化、団員不足などの傾向にある消防団の時代に合った組織構築に向けた取り組みが必要です。水防法改正の考え方で、下部組織の創設を、消防団員の技能向上と権限の強化を、制服などの一新でイメージアップを。

答 町長

今の社会情勢を踏まえ、地域にあてはまる考え方が改訂されるのであれば検討します。団員の技能向上は意義があります。まず、特種資格のデータ化を検討します。3町合併の消防担当イメージアップを具体的に協議してまいります。

質問

老朽ブロック塀対策
 ひやを歩くと、老朽化するブロック塀の亀裂や、土壁の崩れなど、大規模災害時に危険が懸念される所があります。来年度からの「街並み環境整備事業」に、これらブロック塀や土壁の改修補助対策を盛り込むべきです。

答 町長

狭隘道路整備において、拡幅部を町へ寄付していただければ、道路の築造を町が行い、拡幅用地内撤去等工事、塀の築造等に対し助成を検討しています。生垣等の奨励や、地域において安全対策を指導し、老朽建物の修繕においては、所有者が住宅資金融資制度などを利用することも考えられます。

遠藤ひろし議員



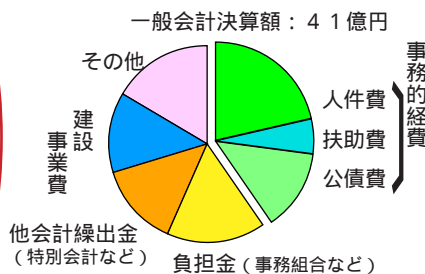
議会報告



9月定例会

9月議会は、8日から17日までおこなわれ、平成15年度決算認定などを審議しました。また、三位一体改革の中、教育費の補助制度にまで及んでいることの影響や、患者が減少傾向にある町立病院の経営改善、市川中学校耐震補強工事などについて質疑が交わされました。一般質問は、消防団規則の見直しなどについて、町の考えを質しました。

平成15年度決算認定



平成15年度予算は、骨格予算であったため、当初予算は93%の計上でした。三位一体改革による地方交付税の減少がそのまま借金に移行した形になり、累積債務は、53億2千万円（町民一人当たり約50万円）となりました。人件費、扶助費、公債費（借金返済）の義務的経費が40%を超え、本町の財政は危険な状態です。

上水道事業

4,561万円もの赤字経営で、よい水を安く供給が危機的状況です。水道料値上げが懸念されますが、三珠町・六郷町は、上水道の整備が無いので、料金改定は地域的な問題になり、合併後、新町内で値段の統一は不可能です。

病院事業

関係者のご努力により、3,839万円の純利益がありました。しかし、患者数は入院で約千人、外来で約4千人の減少です。地域に根ざした病院を目指し関係者は努力をされています。

議員定数

新しい町が誕生すると、旧町の議員は身分を失います。新町の定数22人で選挙をおこなう事になります。しかし、今回の合併では新町誕生直後の混乱を避けるため特例が設けられています。新町定数の倍、44人で選挙を行う旧町の議員がそのまま残る在任特例です。混乱回避や、思い入れなどを考慮に入れ、しばらく現職の議員がそのまま責任を負う、在任特例の適応が望ましいと考えます。

新町の名前



合併協議

町の名前は、その町のイメージづくりや表現、住民の意思統一などのために重要なアイテムです。その決め方は、十分に住民の意向を伺った上で決めていくべきだと思っております。従って、白紙の状態でごく中学生以上の住民よりご意見をいただき、集約した中で、決定していくべきと考えます。

在任特例の考え方

地域の問題や予期せぬ問題への対応のため、選挙による混乱や影響を予期し回避するため、数多い議員が行政執行機関に対し牽制するため。

議員定数と特例

	議員の数	選挙	任期
新町の法定定数	22人	-	-
3町の現職議員数	44人	-	-
特例法を適用しない	22人	あり	4年
定数特例	44人	あり	4年
在任特例	44人	なし	2年未満

